

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



### 金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：沢田哲夫 幹事：米沢修一

情報委員長：春田義正

1986・4月3日

第312号

## 私の見た兼六園

植宗園 植村 博氏



私は内外の客を案内する前に、兼六園の子備知識をお聞きするが古木があるとか苔がいいといった程度で、その核心に触れることが少なく、お世話になって58年の年月になるが残念で仕方がない。今日は園内の樹石や灯籠を代表して陳情に来たような気持です。

6つの名勝を兼ねるとされるが、その他に幾何学的な雪吊りにふんわりかかった初雪、雪が醸し出す景観も日本一、世界一と思う。

兼六園についての出版物は多数だが、随筆や歴史的故事の著述が多く、本当の良さのどこがどうなのか説明されたものがありません。

兼六園を訪れる誰もが、良いなど先ず呟くことじ灯籠は、海外へ5基が渡っている。長短の脚の折れた不足の分を補う台石の上に、短い脚を乗せると、脚が擦れ落ちるような不安定感をもつことは、金沢駅やベルギーでの例に見るが、兼六園の場合は、台座2段目のわずかな部分に脚を掛けたところが、誰も気づかないが強い印象とゆとりを与える良さで、また長い方の脚が水面に入っているだけのもの足りなさを、脚の近くへ3個の石を配置して長短相互の均衡を保っている。そんな両脚に魅力のある灯籠です。様式的には笠に蕨手が無くなりつつあったが、まだ火袋の高い江戸期の作で、以前のものは何度も倒され、現在のものになるまでには数回の組み建てに立会ってきた。不完全の美は茶道でも説かれるが3種類の御影石廢材が集合したものです。2本の脚を琴柱に例えて琴の台を表した手前の虹橋は、紫や朱が入り、あれほど大きな戸室石は皆無です。曲水の3メートル上流に水を閘ったのは、流入する霞が池から金沢城内へ送水するのに必要な水位のためで、そのせせらぎが琴の音という連携が無理なく計画されている。そんな良さは虹橋の上から眺めて理解されるものでなく、破損が進む石橋を渡るより、全景を見渡せる通路をと提言したこともありました。

唐崎松は誰しもその姿を賞めるが、大きな池と曲水を前後に控え、地表を見物に踏み硬められた水を嫌う男松の生きる場所としては奇異な、それだけに偉大な松と思う。形態は鶴で、対する宝来島は道教思想から生れた不老長寿の仙境を意味する亀甲だが、亀頭の石は、南へ向く芽ぶきの良い松の長い下枝と向い合っている。

雁行橋は、曲水に11個の六角の石をY字形に架けた新鮮な造型で、色物の石を映えさせる陽の明るい場所には赤戸室、暗い陰には青い戸室石を配した色彩感覚に胸打たれる。11個の石は中央に向い1枚ずつ組み重ねて上げ、1組は2枚合せて変化をつけ、下流の1枚は岸に置き、流れに抗した強さを見せる。

鶴鶴が和合する姿から、陰陽石を置いた鶴鶴島は、見ようによって陰陽石を脇待とした3尊石でもある。夫婦松とともに椿が植えられている。これは「大椿の寿」の意味で男性の長命を表わす。成巽閣謁見の間には、欄間に見事な赤い山椿が彫られているが、長命の後にころりと往く瑞花の寿を皆様の上に念じます。

—金沢北RC例会講話より— (文責 吉田富士夫)

## 私の職業奉仕

小坂 友夫

「ポスターはデザインの花形だ。」……と24才の時、大阪・毎日新聞社ビルで行なわれた授賞式の席で、審査委員長の早川良雄氏の言葉である。なんとも恰好いい響きで心に残っている。この年、私は始めて毎日商業デザイン展に、商品ポスターを描き出品して、幸いにも入選した。あ、これでどうにか世間に通用する仕事ができそうな気がして、いわば、デザイナーの道へ入る決心をした時期でもある。

元来、グラフィックデザイナーという職業は現在もそうですが、どこまでがプロで、アマチュアなのか区別がつかない、資格制度が確立されているわけでないし、少々器用なら、それなりの仕事もある。気楽な便利屋みたいなところがあるから、己自身の尺度を計るモノサシが必要になるので、セッセと「切磋琢磨」して確立する意外に己の道は開けなかった。



今日のように、マーケティングもマーチャンダイジングなければ、リサーチも一般に知られていない時代ですから、まず技術を憶えることが第一。「切磋琢磨」とは「頭と心とからだと手」が重視され、「手」を動かすことによって、何かを表現し、自然とライバルが生まれる。見比べることによって自身の鏡が見える。そして競う。尊敬する大きな星が見えてくる。何んとか近づきたいと思う。繰り返しから「個性」という目に見えないものとか、「くせ」とか「におい」がにじみ出てくるのか、人は昔から、なくて七癖、あって四十八癖。少々の青い芽の癖ぐ

らいでは、今日のすぎましい情報量の波に足をすくわれてしまいそうである。

きのうまで、企業カタログを制作していたかと思えば、きょうから、日本料理の広告づくり。と様変わりの表現作業であるから、早さが問われる。絵画のように、ひとつの構想を何ヵ月も何年もあたたためて、この世に問うひっ生の大作。というわけには参らぬ、たいてい2~3日、早いので、明朝一番。とくるとアイデアのひらめきもハチャメチャという感じになる。発想という作業は競争なのか、クイズなのか、時々疑問が湧いてくる。

クリエイティブな仕事にモーツアルトの音楽がよい。と言われてレコードを聞いているがいつこうに「ひらめき」が湧いてこない。天才、モーツアルトのように「……構想は、あたかも奔流のように、実に鮮やかに心のなかに姿を現わします……」ってな具合にいかない。

開き直って、ならば積立貯金のやり方で地道にコツコツが一番自分流発想調理法だと自問している。

### 今週の花

吉山 宥海  
(3月20日)

ういす か くら  
鶯 神 楽  
ふき 路 の と う



## 次年度理事・役員名簿 《1986.7～1987.6》

12月12日クラブ年次総会にて選任。

会 長 (理事)	本 江 他美夫	社会奉仕 (理事)	坂 下 直 人
副 会 長 (理事 クラブ奉仕)	俵 外代吉	国際奉仕 (理事)	村 田 完 二
副 会 長 (理事 青少年)	木 島 光 仁	職業奉仕 (理事)	大 沢 久 広
幹 事	長谷川 塑 人	例 会 (理事)	中 谷 栄 治
副 幹 事	本 岡 三千郎	拡 大 (理事)	増 江 泰
会 計 (直前幹事)	米 沢 修 一	企 画 (理事)	佃 一 成
会場監督	中 谷 栄 治	情 報 (理事)	春 田 義 正
直前会長	沢 田 哲 夫	親 睦 (理事)	関 稔
		修 練 (理事)	越 野 民 男
		友 好 (理事)	滝 憲 三
		地域開発 (理事)	岡 田 林太郎
		理 事	柴 田 三 郎

## 次年度委員会名簿 《1986.7～1987.6》

3月13日クラブ理事会にて決定。

委 員 会	内 容	委 員 長	副委員長	委 員
社会奉仕	青少年・都市安全・自然保護 資源愛護・ロータリー梅林 その他社会奉仕全般	坂 下	乙 村	勝田 金子 安宅 高島 小坂 上田
国際奉仕	ロータリー財団・米山記念奨学会 世界社会奉仕・交換学生	村 田	浅 田 (豊)	木下 下村 合田 浅野 吉岡
職業奉仕	職業倫理の向上・従業員対策 四つのテスト・ロータリアンの信条	大 沢	越 田	魚住 土田 由井 小林 出島
例 会	出席・ニコニコ・会場監督	中 谷	木 村	吉山 松岡 市川 小間井
拡 大	会員選考・会員増強・職業分類	増 江	越 元	大村 宗田 二木
企 画	プログラム・講話・クラブ細則	佃	石 丸	早稲田 小杉(善) 大場(勝)
情 報	会報・広報・雑誌・クラブ歴史 記録保存	春 田	吉 田	中島 鈴木 磯貝
親 睦	会員の親睦・家族の親睦 スポンサークラブとの親睦	関	大 場 (吉)	岡田(進) 浅田(禎) 畠 及川 桜井 中村(三)
修 練	ロータリー情報・ターゲット ロータリー文献	越 野	中 村 (省)	沢田 柴田 若野 土原
友 好	他クラブとの友好提携	滝	飯 野	小杉(守) 米沢(真) 山上
地域開発	城北地区開発促進同盟	岡 田 (林)	山 岸	塩村 清水

